

俳句

彼岸餅作り続ける母の杖

中野 千賀子

轉りや面河溪へのまわり徑

今瀬 多代美

神の国の二礼二拍子糸ぎくら

綿引 英子

街灯のにじみて夜の長きこと

瀬谷 博子

秋霖や沖に島なす塵芥

飯田 勇一

轉りや庭石椅子の丸び帯び

竹内 幸子

文芸しろさと

短歌

バアバアですか？孫の声を受話器より八十路過ぐ吾のいのち華やぐ

大森 久子

健やかに百歳まで生きよと息子は言ふも返事はできず笑つて返す

佐川 あや

正月は子等孫の来て賑々と

雑煮食さむ老いは幸せ

所 美恵子

純白の花が夕べはうす紅に染りて酔芙蓉はいのち閉じたり

渡辺 千紗子

老いてなお安心にいて句とクロツケー

仲田 まちゑ

雉子鳴いて藪のそはそは落ち着かず

田口 勝元

さんぽ道土手の陽だまりふきのとう

羽石 雅春

湯けむりの里は夕焼け山眠る

寺門 孝子



川柳

世界中マスクミにぎわすコロナ菌

富田 多蔵

マスクの威力国をも揺るがす今日この頃

車田 綾子

わがまを聞いているほうが我がままだ

飯村 孝一

見る人の声なき土俵ちと淋し

川原 清



番組は「あれから九年」と変りゆく震災事故の町を映しぬ

萩谷 登喜子

思い出は胸いっぱいにあるけれど貴方がいない日々が虚しい

藺部 光子

俳句会友に誘われ入会しばかり防止には最高の趣味

富田 欽子

那珂川の岸辺明るい空はるか目指す理想を磨く我知恵

矢次 洋平

学ランの第二ボタンは時を経

島 愛子

今蛍光灯のひもに付きおり

信田 育子

新しき肺炎の世に拡がりぬ見えぬウイルスに怖れつつ暮す

富田 佐智子



しろさとまち通信

一城里町地域おこし協力隊 Vol.48

城里町地域おこし協力隊の連載、4月号は近藤修が担当します！



▲黒毛和牛の世話をする様子

問合せ 農業政策課
☎029-288-3111
(内線254)

こんにちは、農業政策課地域おこし協力隊の近藤修です。妻とともに城里町に移住したのが、およそ2年前。この4月は地域おこし協力隊としての最終年度がスタートする節目です。

この場を借りて『地域おこし協力隊』について説明させていただきます。地域おこし協力隊制度は、『都市部から地方へ移住し、地域支援活動や農林水産業などを行い、その地域への定住・定着を図ること』を目的としています。

任期は1〜3年間、それ以降は自らで生計を立てる、という本人にも責任のある、国が主体の移住促進政策です。

私は、『黒毛和牛繁殖農

家として独立』を目標に、活動を行っています。もともと東京でサラリーマンをしていたので、農業は全くの未経験。それでも町内の先輩農家さんの丁寧な指導をはじめ、地域の皆さまのお力添えにより、昨年7月に最初の牛を飼い始めることができました。

「牛飼いにしたい」という願いが、稀有なご縁で実を結びつつあります。小さな一歩ではありますが、次の『芽』になるようなバトンを繋ぎ、私のような未経験者でも牛飼いになれたという事例のひとつになればと思っています。引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。